



# 月刊 千葉動力車

94.10.31 No. 4087

# 12.31ダイ改阻止に向けて! 水野選挙必勝

## 勝浦支部大会開催!

十月二七日、全支部の先頭をきつて、勝浦支部定期大会が、民宿神田で開催された。大会は、被解雇者や他支部の勝浦在住者もかけつける熱気のなかで、当面する一二月ダイ改と水野選挙闘争勝利に向けた方針が討議・決定された。

冒頭あいさつにたった滝口支部長は、「解雇撤回闘争が今も継続して闘いぬかれています。何よりも、全員の解雇撤回に向けて新たな団結を固めてほしい。勝浦支部は、今年、全国にはばたこう方針のもとに、全支部の先頭をきつて地域集会を開催した。この取組みのなかでも、動力千葉の闘いを多くの仲間が注目していることが明らかとなった。これからも確信をもって進みたい。一・二・三ダイ改では、業務が京葉運輸区にもついでいかれようとしている。これは、明らかに動力千葉潰しの攻撃だ。ダイ改後、不当配転も予想される。当局のいいようにやられてしまうわけにはいかない。全力で闘おう。最後

に、水野さんを全員の協力で、絶対に対に当選させたい。そのことを強く願う」と訴え、当面する闘いの課題を明らかにした。

続いて、本部長野委員長と勝浦市議選に打って出る水野さんよりあいさつを受けた後、執行部より「九四年度運動方針案」、「勝浦市議選必勝に向けた取組み」等について提起がされ、熱心な質疑が行なわれた。質疑のなかでは、水野選挙、一・二・三ダイ改問題、強制配転や組合掲

示板、昇進試験などをめぐる差別労政問題、JR総連・革マルの動向等について活発な質問や意見がだされ、当面、ダイ改と水野選挙闘争勝利に向けて支部一丸となって総決起する方針が、満場一致採択された。

最後に、選出された新執行部を代表して鶴岡新支部長の力強い団結ファンパローで、大会は大成功のうちに終了した。  
勝浦支部に続き、全支部の大会を成功させよう!



勝浦市議選に  
向けた決意

水野正美

昨年の七月、一二月のダイ改に続き、今年の一二月ダイ改において、さらなる大幅なローカル線の切り捨て攻撃が強行されようとしています。館山・勝浦間の列車が大幅に削減されるうえ、すでに勝浦運転区と館山運転区の廃止、鴨川に縮小・統合される構想が検討の俎上にのぼっています。

私は、人生の多くを動力千葉の運動に注いできた人間一人として、地域において動力千葉・国鉄労働者の運動を支え、房総半島とりわけ勝浦・館山を含めて、房総南端の過疎化を促進するローカル線削減に反対する運動を地域から作り出していくため全力をあげる決意です。同時に、勝浦市に生まれそこに骨を埋める人間として地域に根ざして、今日の政治反動に抗し、労働者・市民とともに住みよ

### 94年度 新執行部

役員名	氏名
執行委員長	鶴岡 威昌
執行副委員長	岩瀬 義夫
"	高梨 孝蔵
書記長	磯野 豊
執行委員	鶴岡 孝利
"	網野 茂
"	田中 進
"	吉清 信弘
"	吉野 六郎
"	高梨 一夫
会計監査	鈴木 忍
"	出水 敏夫

紹介者名簿を本部へ!